

三重県で研修医になろう!

三重県といえば、何を思い浮かべるでしょう。パワースポットの伊勢神宮? それとも伊勢エビやアワビ、松阪牛といったおいしい食べ物?

そんな伝統文化や美食材がそろった三重県ですが、“MMC卒後臨床研修センター”という機関を中心に、他県とは異なる新たな初期臨床研修制度が実施されようとしています（平成24年開始予定・現在厚生労働省に申請中）。研修制度の新しい道、どんな制度なのでしょう。

MMC卒後臨床研修センターとは

MMCは「Mie Medical Complex」の略称です。MMC卒後臨床研修センターは、平成16年に三重県内の全臨床研修基幹型病院、関連病院、行政や三重県医師会などで立ち上げ、研修の充実を図り、研修医のための事業を企画・運営している団体です。理事会、卒後臨床研修部会などで研修を支える様々な検討を重ねております。

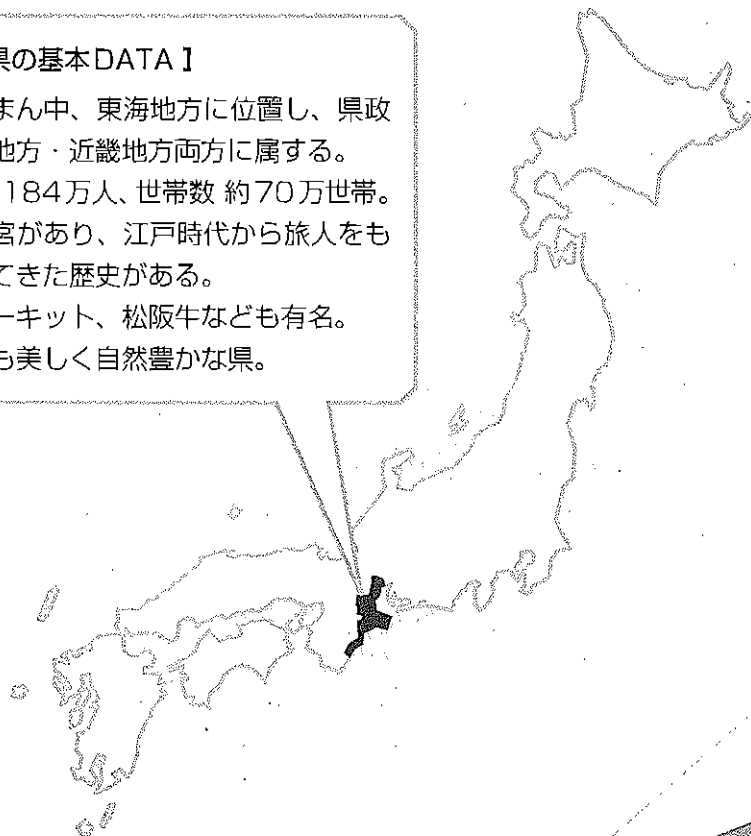
毎年、医学生対象の臨床研修の合同面接会や病院説明会、研修医対象の臨床懇話会、Advanced OSCE、臨床研修指導医講習会、新採用オリエンテーション、各セミナーなどを開催しています。初期研修・専門医研修の情報（メールマガジン・ガイド冊子）を発信し、医学生、研修医の皆様をサポートします。

【MMC卒後臨床研修センターの事務局】松本和隆医師（事務局長）をはじめ、事務局員が三重県津市にある事務局で、メールマガジンの配信、催しの準備、各お問い合わせ・相談等に対応しております。



【三重県の基本DATA】

日本のまん中、東海地方に位置し、県政は中部地方・近畿地方両方に属する。
人口約184万人、世帯数約70万世帯。
伊勢神宮があり、江戸時代から旅人をもてなしてきた歴史がある。
鈴鹿サーキット、松阪牛なども有名。
海も山も美しく自然豊かな県。



次ページからMMCさんの取り組みについて詳しく紹介しています!



松本和隆

三重県内の主要病院にて専門分野である糖尿病診療に携わるとともに、三重大学において学生や研修医の指導にあたりしている。平成23年4月卒業臨床研修部助教。また三重県医療審議会地域医療対策部会委員に任命されている。NPO法人MMC卒業臨床研修センターの事務局長兼実行委員長として医学生、研修医のために、県内外で奮闘中。

MMCプログラムとは

NPO法人MMC卒業臨床センター（以下文中ではMMC）では、全ての基幹型病院が提携する新たな研修制度「MMCプログラム」を創設しました。このプログラムにより、2年次の選択期間に、幅広い選択肢の中から研修が出来ます。MMCでは、このプログラムにより、県内の研修の到達度評価を客観的に行い、各病院の指導体制、研修医の環境などについても検討していきます。現役の研修医から「研修医にとって、メリットがある」「他の病院の研修を見たい」「自分が「もっと研修したい」と思った内容を実現できる」などの意見を預かり、なかには「上級医として協力する」という励ましもいただきました。同時に「他院の研修医との交流や相互指導」についても注目されています。このMMCプログラムは、決して画一化を推進するものではありません。各病院の独自のプログラム、さらなる取り組みをしており、それぞれの基幹型病院の魅力がますます高まっています。選択研修が、一気に「三重県の全基幹型病院で可能」となったMMCプログラムは、研修医が自身の目標に向かって研修を進める助けになると確信しています。



【ご注意ください】

- ※2年間基幹型病院のみで初期研修を修了することもできます。
- ※いわゆる「受け入れ可能期間、人数」は基幹型病院が研修医の希望により調整しつづけるため、常に変わります。随時、MMC事務局が集約し、情報提供します。（現在、研修医向けクローズドホームページを準備中）
- ※「受け入れ可能」情報では、確認時に空きがなくても、ご希望の研修についてご相談ください。少しでもご希望に添えるよう調整します。
- ※MMC事務局までお問い合わせください。事務局長松本から詳しくご説明させていただきます。
- ※MMCホームページ、各レジナビ説明会MMCブースなども活用ください。

★ 医学生の皆様、下記の合同面接会までにぜひ、病院見学・ご相談をしっかりと進めてください。★
見学先は、80頁～の三重県研修病院紹介をご覧ください。

平成23年度初期臨床研修病院合同面接会

平成24年4月から研修予定の医学生の皆さまへ

- 三重県内の臨床研修病院が一堂に会した合同面接会です。
- 当地三重県ではMMCが統括させていただく事により、たった一日で複数病院の面接を受けることが可能です。
- 面接を希望される研修病院の担当者様にご相談ください。

★不明な点がございましたら
お気軽にMMC事務局まで
お問い合わせください。

日程

平成**23**年**8**月**28**日(日)

※場所や時間など詳細は決定次第、MMCのホームページ上で公開していきますので、随時ご確認ください。

申込み

医学生からMMCへの個別申込は不要です。

研修病院へ面接をお申込みの際に、病院担当者に「合同面接会」についてお尋ねください。MMC事務局にて全研修病院の時間割を作成の上、医学生の皆さま宛にMMCから面接票・時間割表をご案内します。

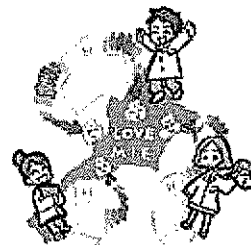
MMC卒業臨床研修センター

〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174

TEL: 059-231-5429 FAX: 059-231-5440

Email: jimukyoku@mmc-center.com

URL: <http://www.mmc-center.com>



2011年3月27日(日)開催 三重県研修病院合同説明会の様子を大公開!

参加病院

いなべ総合病院

桑名市民病院

山本総合病院

四日市社会保険病院

市立四日市病院

三重県立総合医療センター

鈴鹿中央総合病院

鈴鹿回生病院

岡波総合病院

名張市立病院

三重大学医学部附属病院

津生協病院

三重中央医療センター

済生会松阪総合病院

三重県立志摩病院

山田赤十字病院

伊賀市立上野総合市民病院

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム

紀南病院

市立伊勢総合病院

松阪市民病院

永井病院

遠山病院

松阪中央総合病院

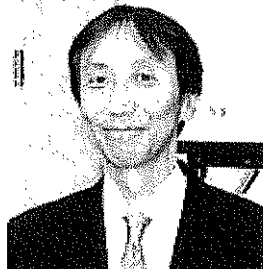


取材した感想

何より参加者がとても多く、三重県以外からの参加者も見られたことに驚きました。どの病院ブースも大変にぎわっていて、「三重県で初期研修を考えている学生」が、それぞれの疑問をぶつけているようでした。また、三重大学医学部附属病院 今井先生・宮部先生による特別講演も立ち見が出るほど盛り上がっていました。参加していた学生さんに話を聞いてみると、「学校の実習では回れない病院が展示しているので参加してみたけど、色々な話を聞けて良かった」、「どの病院もかなり突っ込んだ話をしてくれた」など、感想も様々。多くの学生さんが「8月の面接会にも参加します」と答えていたことも、この説明会に満足したことを表しているようでした。

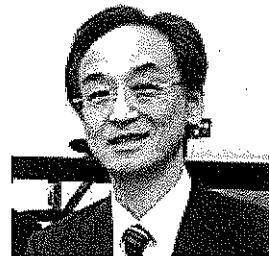
三重大学医学部附属病院 医師による特別講演

初期研修で習得してほしいことの一つに、プライマリケアがあります。特に救急患者が運ばれて来たときの処置や、入院・帰宅の判断などは、必ず身に付けてほしいことです。三重県内の研修なら、しっかりと知識・経験を積むことが可能です。「三重県ならいつでもどこでも最高の医療を受けられる」、これを自分自身の目標としています。また、それを実現するために県内の研修医を集めた勉強会などを開催し、みんなで一緒に成長していくことを心がけています。



三重大学医学部附属病院
救命救急センター長・教授
今井 寛先生

麻酔科の仕事とは、手術中の患者さんを守ることであり、外科医・メディカルスタッフが円滑に手術を進められる環境を作ることです。三重大学では、年間5,000例を超える豊富な症例があり、スタッフとの協力関係も良好です。初期研修で麻酔科を学ぶ上で最適な環境が整っています。希望があれば、初期研修の時期でも麻酔についてしっかりと学ぶことができます。私自身、「自分の成長が実感できる」ことを目標としていますが、研修医の皆さんにもそう思ってもらえるような研修を提供します。



三重大学大学院医学系研究科
病態解明医学講座
臨床麻酔学分野 教授
宮部 雅幸先生